

平成28年度 学校法人 三幸学園 札幌スポーツアンドメディカル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 早坂 達

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 平間 康充

1. 学校の教育目標

教育理念：「技能と心の調和」

目指す人材像：スポーツを通じて健康と楽しさを提供する人材

以上2点を基本とし、特に教職員間で「信頼関係を持って連携し、生徒指導を行う」ことを教育目標として掲げた。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・生徒、教員共に、規則を徹底すること
- ・退学率を更に低減するために、担任教員と教科担当教員の情報共有を密にしていくこと
- ・現場実習の満足度をより高くしていく為に、全学科共通のアンケート作成し、検証を行っていくこと
- ・就職率を100%に近付けるために、就職先企業との連携を強化すること

以上の4点について、重点的に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

理念や目指す人材像について、昨年よりポスター掲示などに努めているが、生徒や保護者への理解がまだ弱い

② 今後の改善方策

引き続き生徒に対して：各クラス教室に教育理念及び目指す人物像をポスターにして掲示とともにスタートアッププログラムにて伝達

保護者に対して：保護者会不参加者への資料配布を実施

③ 特記事項

特になし。

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

生徒への情報伝達を行う際は WEB メール機能を使用しているが、HR とリアルタイムで伝達すべき内容が精査されていない

② 今後の改善方策

生徒用の WEB 掲示板にて告知することや HR・掲示にて伝達する内容事前に分類分けする

③ 特記事項

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1

関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

関連団体や企業との連携およびFBに対してdのように実施していくかまだ不十分な点

② 今後の改善方策

今後、関連団体や企業との連携の活かし方を考える

③ 特記事項

コンサドーレ札幌、ルネサンス、エスポラーダ北海道、日本ラグビー協会と産学連携をしている

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1
---------------------------------------	---	---	---	---

① 課題

同窓会LINK(卒業生とのつながり)があるものの認知度および利用メリットが少ないため、まだまだ発展しきれていない。

② 今後の改善方策

卒業生に有益な情報提供や現場での経験を生かした在校生への職業理解の提供の場の設定など

③ 特記事項

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 課題

個別対応できているものの全体的な卒業生へ支援体制が少し不十分である。

② 特記事項

特にスポーツ分野においては、各高校の部活動への支援・協力等を通して、出来ることがまだあると考えている
中学生の学校見学(職業体験や将来学習)は多くの希望に対応できている

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

海外研修について、興味を持つ生徒は多いが費用が高く、参加出来ない学生が多い

② 今後の改善方策

入学前から概算の費用を伝え、計画的に費用を準備できる流れを作る

日数変更により総費用を抑える

③ 特記事項

特になし

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本校に早く進路を決定した型に対して、入学前の時間を有効に使える様、本校で資格講習会を無料で実施し、資格を取って頂けるようにしている

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

予算、収支計画や財務については問題なく作成、運用されているが、責任者及び経理担当しか把握が出来ていない

② 今後の改善方策

全ては難しいが、教職員として知っておくべき内容については積極的に情報を共有していく

③ 特記事項

特になし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

① 課題

地域に対する講座や社会貢献が不十分である

② 今後の改善方策

授業を行っていない時間帯での、施設開放(スタジオ、プール、マシンルーム)を検討し、実行する

③ 特記事項

特に幼児体育、スタジオレッスンの講座等を開講予定

(11). 国際交流(必要に応じて)

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4 ③ 2 1
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 ② 1
学内で適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年度当初に掲げた、

- ・生徒、教員共に、規則を徹底すること
- ・退学率を更に低減するために、担任教員と教科担当教員の情報共有を密にしていくこと
- ・現場実習の満足度をより高くしていく為に、全学科共通のアンケート作成し、検証を行っていくこと
- ・就職率を100%に近づけるために、就職先企業との連携を強化すること

に関しては、各種数値や卒業生全員から取っている「卒業生アンケート」から見て、ある程度達成できた。

しかし、就職率や退学率に代表される各種数値に関しては、まだ改善の余地もあるというのが事実である。

今後は、教育機関として更に良い教育を提供していく為に、今年度の自己評価における改善点を1つ1つ改善していきたい。